

生涯学習振興・社会教育関係職員等研修
基礎研修

生涯学習振興・社会教育
行政職員の役割等

【ねらい】

これからの生涯学習振興・社会教育関係職員等に
期待されている資質・能力について理解する。

ぱれっとひろしま 広島県立生涯学習センター

求められる資質・能力

- ① **コミュニケーションの能力**
- ② **学習課題の把握と
企画立案の能力**
- ③ **コーディネーター（調整役）
としての能力**

① コミュニケーションの能力

円滑なコミュニケーションをとるためのポイント

① **自分を相手に伝える：自己開示**

- 自分が何を考え感じているのかを相手に伝えること。
- 内容、タイミング、対応が大切

① コミュニケーションの能力

円滑なコミュニケーションをとるためのポイント

② **言いたいことを伝える
：アサーション**

- 自分も相手も尊重しながら自己表現すること。

① コミュニケーションの能力

3つのコミュニケーションスタイル



受け身スタイル

攻撃的スタイル

アサーティブなスタイル

【例1】会合の後で、相談があるので、この後少し時間をとってもらえないか？と地域住民に呼び止められた…（しかし、次の予定の時間が迫っている！）

こんな時あなたならどんな対応をしますか？

① コミュニケーションの能力

受け身スタイル

攻撃的スタイル

アサーティブなスタイル

①コミュニケーションの能力

【例2】いつも公民館にきてくださる、地域の高齢の女性グループ。今日もロビーのソファで大きな声でおしゃべりを楽しまれています。これから大勢の方が集まる行事が始まるので、できれば退席してもらいたいのですが…

こんな時あなたならどんな対応をしますか？

 **アサーティブなスタイル**を意識して、
(自分も相手も尊重しながら自己表現をする) **対応してみましょう！**

グループで意見を交流しましょう！

①コミュニケーションの能力

円滑なコミュニケーションをとるためのポイント

③相手の話をうながす

●「うなずき」「あいづち」傾聴の姿勢

- ・聞いてもらっていると思えるから安心して話ができる。
- ・「聞いているよ」というメッセージを伝えることが大切。

●「閉じられた質問」「開かれた質問」

閉じられた質問【例】「元気ですか？」
⇒はい、元気です。

開かれた質問【例】「最近どうですか？」
⇒実は最近、腰が悪くてね…

①コミュニケーションの能力

円滑なコミュニケーションをとるためのポイント

①自分を相手に伝える：自己開示

②言いたいことを伝える

:アサーション

③相手の話をうながす

②学習課題の把握と企画立案の能力

地域の問題

地域の様々な問題の中から、これなら「社会教育」の力で解決できるという“問題”を見定める。

学習課題

- “問題”を解決するために、何について、どのような学習を進めていくのか。
- 地域の住民にどんな力を付けてほしいのか、どんな意識を持ってほしいのか。

②学習課題の把握と企画立案の能力

地域の問題

【例】ゴミ出しのルールを守らない住民が多く、住民同士のトラブルになっている。

学習課題

- 性善のよいゴミ処理場を新しく建設し、ゴミ問題を解決しよう。
- 【例】
- ・ゴミの分別のルールを学ぼう。【社会教育】では解決できない？
 - ・ゴミのリサイクルと環境問題との関わりを理解しよう。
 - ・円滑なコミュニケーションの取り方を身に付けよう。
 - ・地域の身近な問題について、お互いに気軽に話をしあえる人間関係を構築しよう。

地域住民自らの力で、学びを通して地域の問題・課題を解決していけるようになる、力を身に付けていく、そのための支援として、「学習」の場を作っていく。

②学習課題の把握と企画立案の能力

地域の問題 地域の中にはどんな「問題」があるでしょうか？

- ①地域をよく見つけて、**地域の中の様々な問題(地域の住民が困っていること)をなるべくたくさん挙げてみましょう！**(簡易書きで結構です。)
- ②たくさんの「地域の問題」の中から、**「社会教育」の力で解決できそうなものを選んでみましょう！**(〇を付けてみてください。)
- ③〇を付けた様々な地域の問題について意見交流し、グループで二つ選出してください。

学習課題

「地域の問題」を解決するためには、地域住民がどんな力を身に付ける必要があるでしょうか。どんな学びが必要になるでしょうか？

- ④(グループで一つ選出した)
- 「地域の問題」を解決するための **学習課題を設定**してみましょう。
- 例)知らないことを知るようになる【知識、理解、判断】
例)できないことができるようになる【技能、表現】
例)意識を変える【関心、意欲、態度】

②学習課題の把握と企画立案の能力



地域の課題

学習課題

②学習課題の把握と企画立案の能力



- 社会の変化が激しく、地域課題も多様化する中で、**幅広い視野と探究心**が必要。
- もっと学ばれたい方は、
「学習プログラム研修」受講をお勧めします！

③コーディネーター（調整役）としての能力

コーディネートとは…



人(機関・団体を含む)と情報、

人と人、人と学習資源を

適切に結びつける「調整」

- マッピング ●企画・立案 ●連携・協働

③コーディネーター（調整役）としての能力

- **学校・家庭・地域の連携の推進**



教育基本法(平成18年改正)

第13条 学校、家庭及び地域住民その他の関係者は、教育におけるそれぞれの役割と責任を自覚するとともに、相互の連携及び協力に努めるものとする。

社会教育法(平成13年及び20年改正)

第3条 3 国及び地方公共団体は、第1項の任務を行うに当たっては、社会教育が学校教育及び家庭教育との密接な関連性を有することにかんがみ、学校教育との連携の確保に努め、及び家庭教育の向上に資することとなるよう必要な配慮をするとともに、学校、家庭及び地域住民その他の関係者相互間の連携及び協力の促進に資することとなるよう努めるものとする。

③コーディネーター（調整役）としての能力

- **ネットワーク型行政の推進**



「今後、社会教育行政は、**地域住民同士が学びあい、教えあう相互学習等が活発に行われるよう環境を醸成する役割**を一層果たしていくことが必要（中略）このため、今こそ、従来の『**自前主義**』から**脱却**し、社会教育施設間の連携の強化のみならず、首長部局・大学等・民間団体等と連携して、地域住民も一体となって協働して、『**ひらく・つながる・むすぶ**』といった機能を様々な領域で発揮する、『**社会教育行政の再構築**』（**ネットワーク型行政の推進**）を実施していくことが必要」

「第6期中央教育審議会生涯学習分科会における議論の整理」(平成25年1月)

③コーディネーター（調整役）としての能力

- **地域をよく知り、
多様な人・団体・関係機関と信頼関係を築き、
連携・協働のネットワークを作る力を！**
- **いろいろな力をつなぎ合わせて
1+1=2? 以上の力
を発揮できる“触媒”となる！**



ランキング

「生涯学習振興・社会教育関係職員として大切だ」と思う順に番号をつけましょう。

①まずは、「あなた」が思う順位を付けましょう。

②メンバーの意見を聞き取りながら、グループで意見を交流し、グループの順位を決めましょう！

順位を付ける際に“ポイント”となったことは何ですか？
メモしてください。

振り返り

- 今後の業務に生かせそうなこと
- 関係職員等として大切にしたいこと

参考資料・文献

- ①『新訂 生涯学習概論ハンドブック』平成23年、国立教育政策研究所社会教育実践センター
- ②『生涯学習支援実践講座 生涯学習コーディネーター研修テキストⅢ コミュニケーションの仕方の理解』平成21年、社会通信教育協会
- ③『平成21年度社会教育活動の実態に関する基本調査事業 公民館の職員の研修に関する実態調査報告書』国立教育政策研究所社会教育実践センター